



巻頭特集

明るい未来に向かって

いといがわ ミライト2022の挑戦

「糸魚川大火」で被災した地域を盛り上げたいと結成された市民団体(EKIKITA WORKS(エキキタワークス))。今回は活動の一つである「いといがわミライト2022」について話を聞きました。

糸魚川市駅北大火復興イルミネーション事業

いといがわミライト2022

期間 11/19(土)~12/25(日) 時間 17:00~21:00

場所 駅北市民公園(大町潮風市民公園、浜町東市民公園、本町東市民公園、大町親水市民公園)、市道(万代屋裏中小路線)、糸魚川駅北広場キターレ、加賀の井酒造正面駐車場

点灯式 11/25(金)18:00~ 大町潮風公園(オリジナルビデオインスタレーションは18:30~20:30予定) ※17:00~21:00通行規制あり
飲食ブースや消防車両の展示、謎解きラリーを実施

いといがわ ミライトへの想い

2016年12月に発生した糸魚川大火は、あっという間に住民の日常を奪いました。大火で真っ暗になった街を見て、「大火の記憶を後世に残したい」「街に賑わいを取り戻したい」という思いから、EKIKITA WORKS(エキキタワークス)は2017年7月、被災地区3区の若手有志15人で結成されました。

はじめは夏休みの自由研究として駅前商店街を巡るイベントなどを実施。店舗への協力依頼や宣伝など、苦労したことも多かったそう。ですが、子どもたちに商店街のよさを知ってもらったための取り組みとしては大成功に終わりました。

明るい未来へ 希望を灯す

「いといがわミライト」はEKIKITA WORKSの活動の「環」として、「大火があった場所」「被災した街の人の心」「糸魚川の明るい未来」に明かりを灯したいという想いで2018年から始まり、

初年度は道にキャンドルライトを並べただけだったといいます。しかし

大火の際には多くの方にご支援を頂きました。その時の感謝をご支援いただいた一人ひとりに返すことは難しいですが、地域に恩返しができるように活動をしていきたいです。自分たちの活動を継続させていくことで大火の記憶を風化させず、20年、30年後の地域の子どもたちの明るい未来や地域の賑わいを願い、活動していきたいと思えます。

EKIKITA WORKS代表 本間 寛道

新企画に挑戦!

5回目となる今年、地元幼稚園の園児が描いたイラストが動き出す「オリジナルビデオインスタレーション(プロジェクト)」を実施。また、大火当時に活躍した(糸魚川市消防本部)による消防車両の展示も決定しました。ほかにも屋台出店などもあり、子どもから大人まで楽しんでもらえるようなイベントになっているそうです。

本間さんは「とにかく楽しんでほしい。糸魚川大火があったことを忘れないため、後世へ繋げていくために毎年恒例のイベントにした。もっと糸魚川を盛り上げていきたい」と意気込んでいます。

